

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

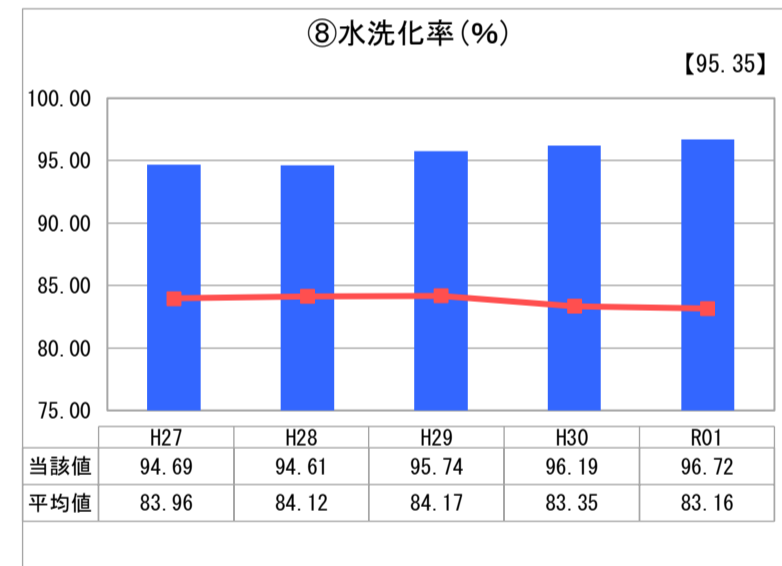
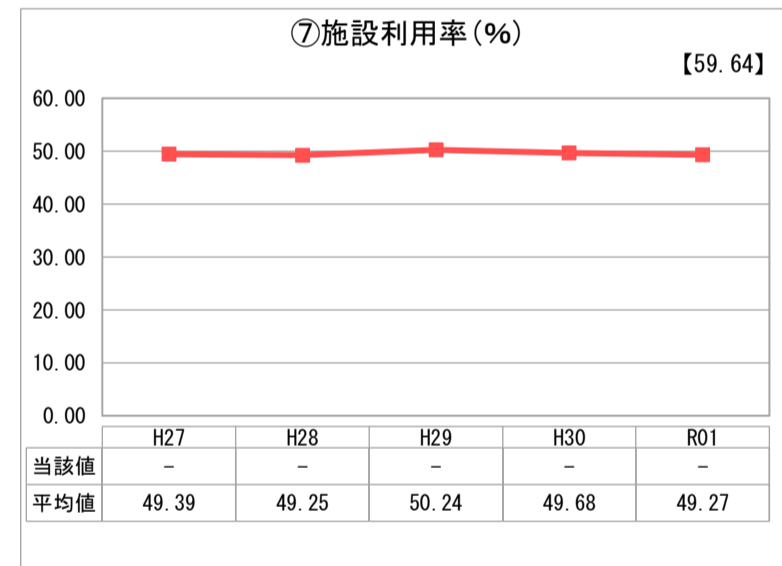
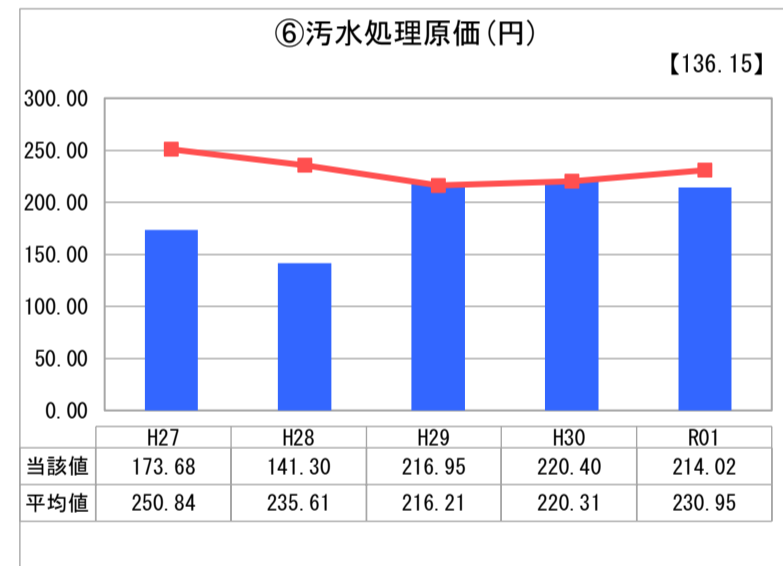
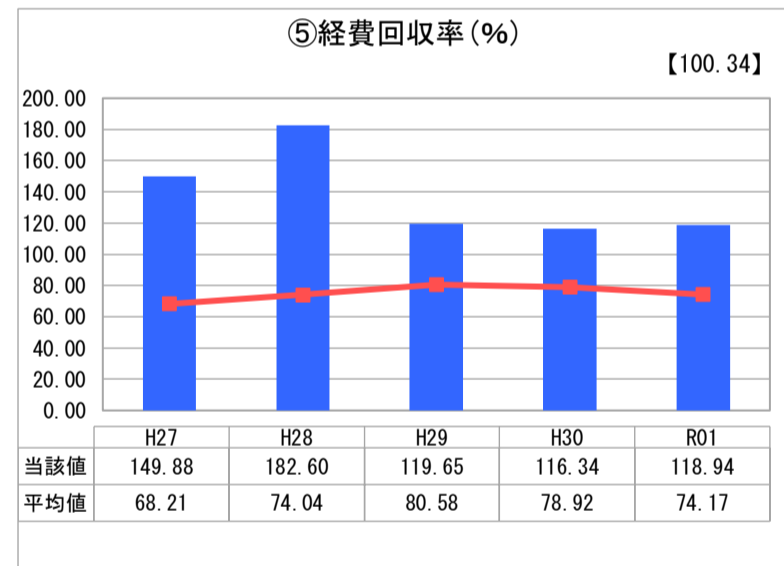
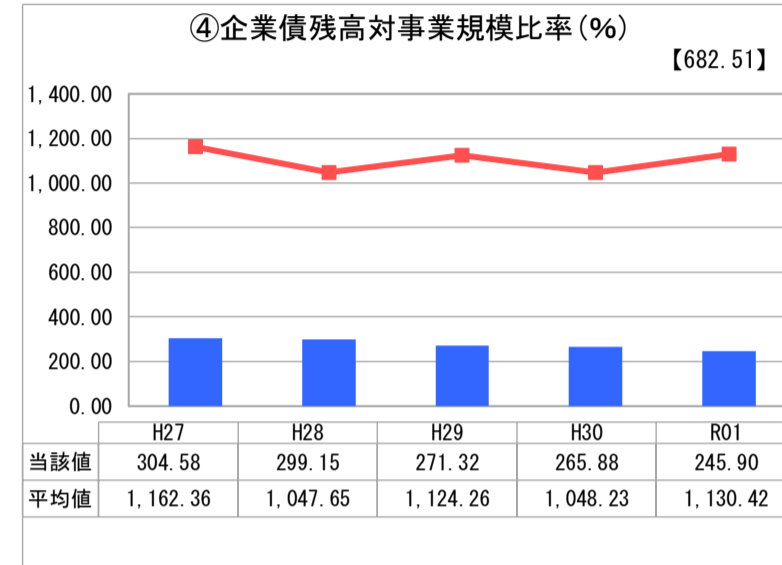
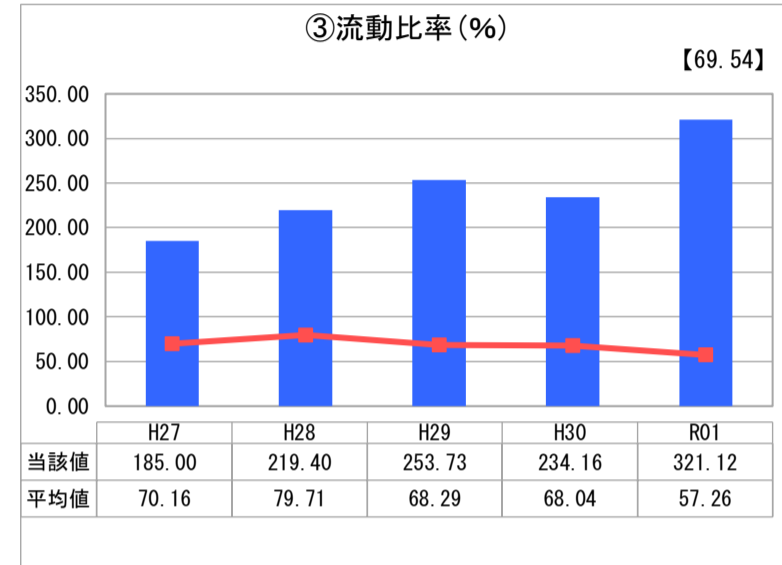
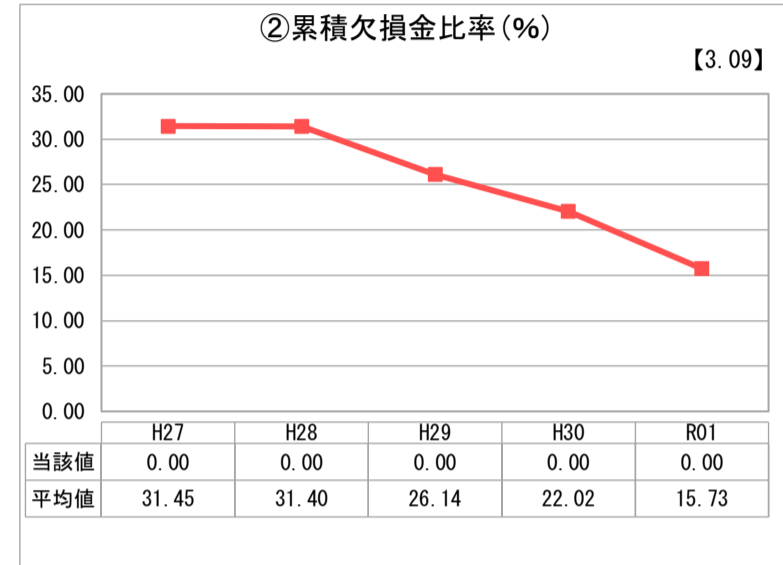
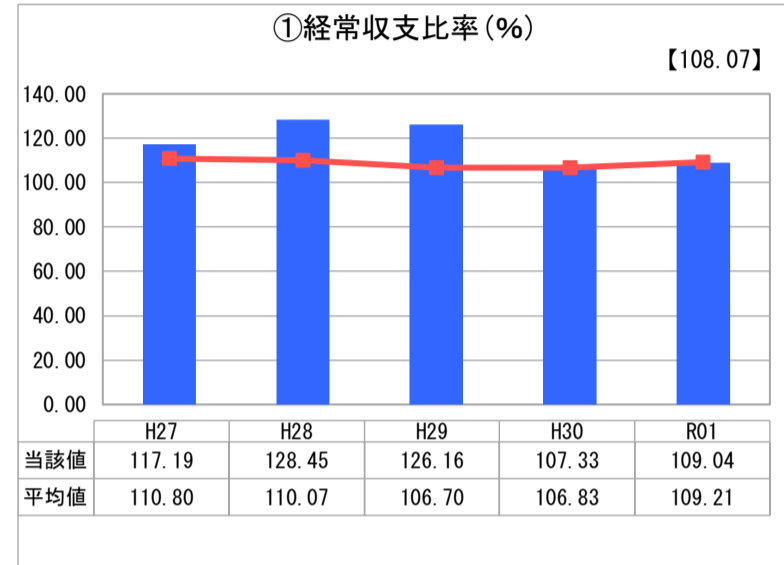
兵庫県 加西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	71.52	26.64	93.79	3,710

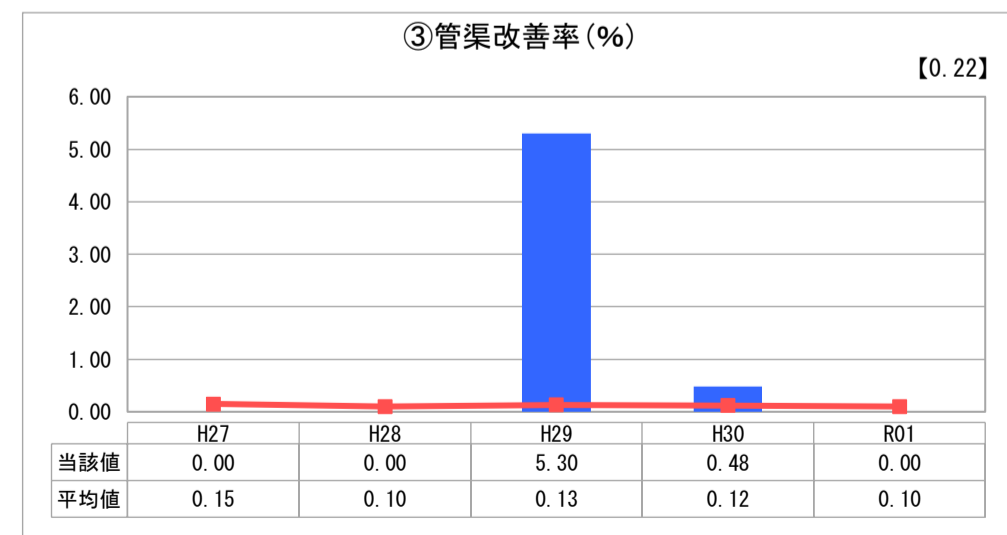
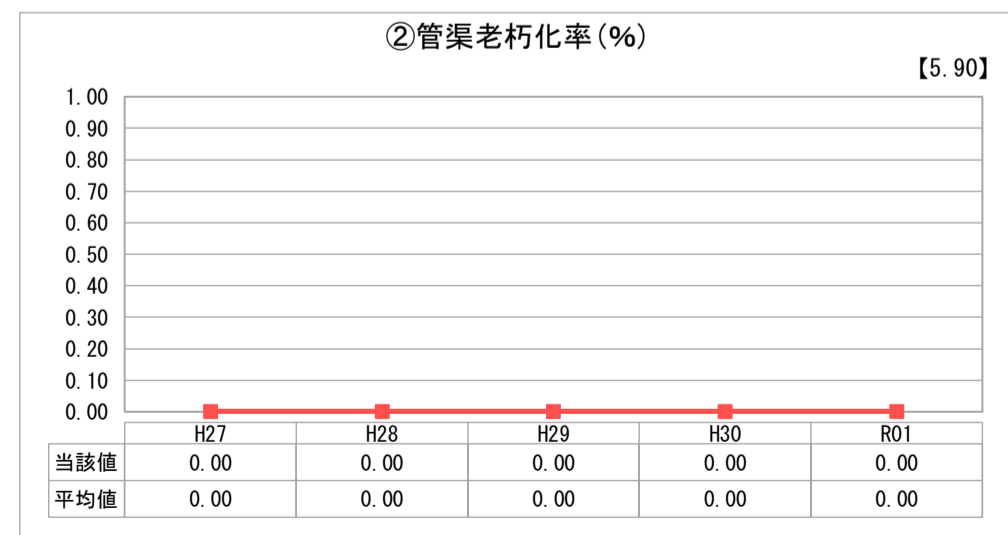
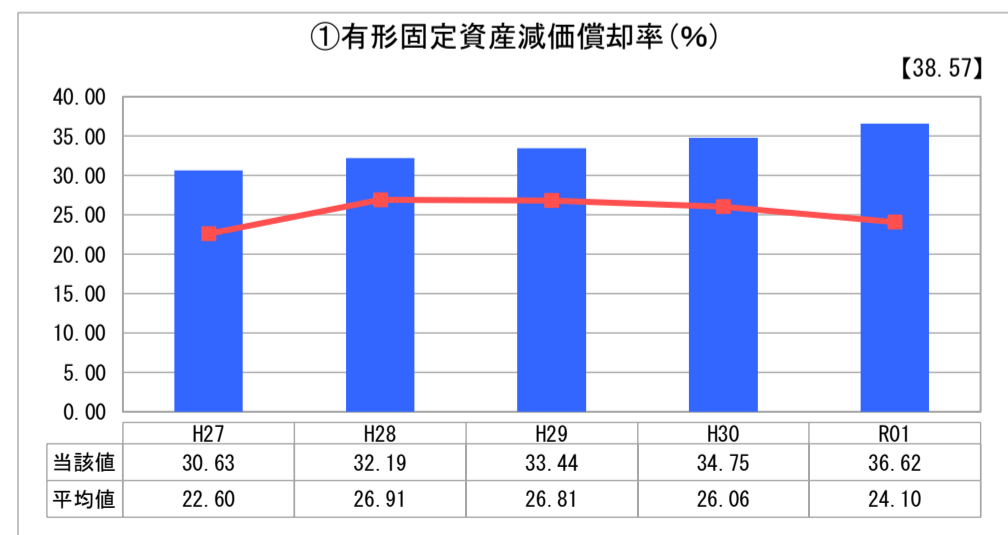
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
44,080	150.98	291.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,690	4.99	2,342.69

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は引き続き100%を上回っています。令和元年度は平成30年度に比べて使用料収入は同程度でしたが、主に減価償却費、支払利息の減少により費用が減少し、若干の数値の改善が見られます。今後も収入の減少傾向が続くと予測されるため、引き続き経費の節減に努める必要があります。

②累積欠損金比率は平成27年度決算において解消され、以降においても発生しておりません。

③流動比率は引き続き良好な状況を保っています。

④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均を大きく下回っており、適正な数値となっています。

⑤経費回収率は100%を超えており、使用料で経費を賄っている状況であるといえます。

⑥汚水処理原価は平成30年度より若干の数値の改善が見られ、類似団体平均を下回っています。

⑦当市には公共下水道の処理施設がないため、施設利用率は該当がありません。

⑧水洗化率については類似団体平均より高い水準ですが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は類似団体平均と比べると数値が高く、令和元年度末で36.62%となっており、全体の残存価額は7割程度残っていることとなります。

③平成29年度、30年度には一部の地域の管更生を実施したため、数値が高くなっています。

## 全体総括

当市の公共下水道事業については、一部の指標において類似団体平均を下回っていますが、概ね良い状況を保っているといえます。

ただ、市の下水道事業全体としては、農業集落排水事業、コミュニティ・プラント事業の事業効率が悪く、非常に厳しい経営状況が続いています。

人口減少等による減収が予想される中、各事業ともに引き続き経費の節減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

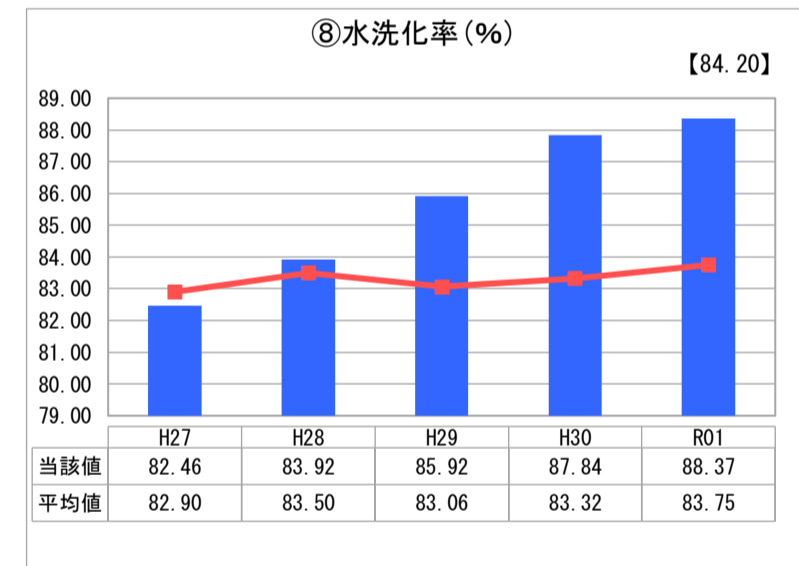
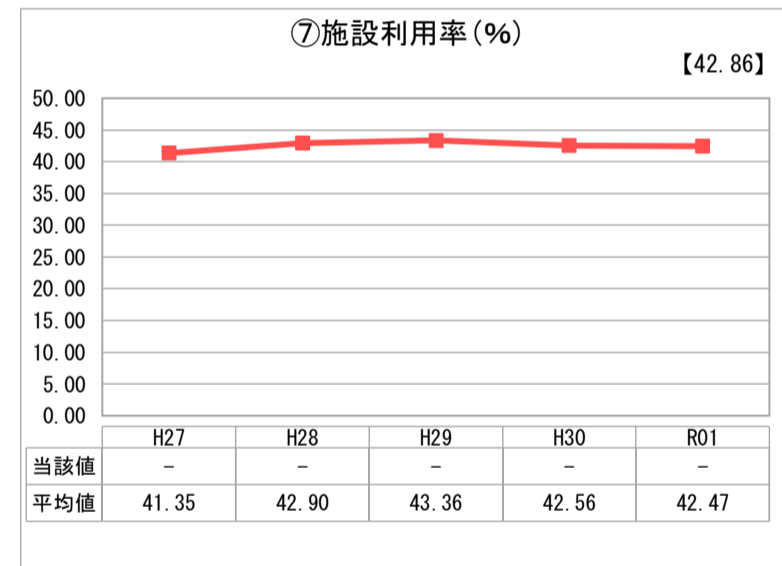
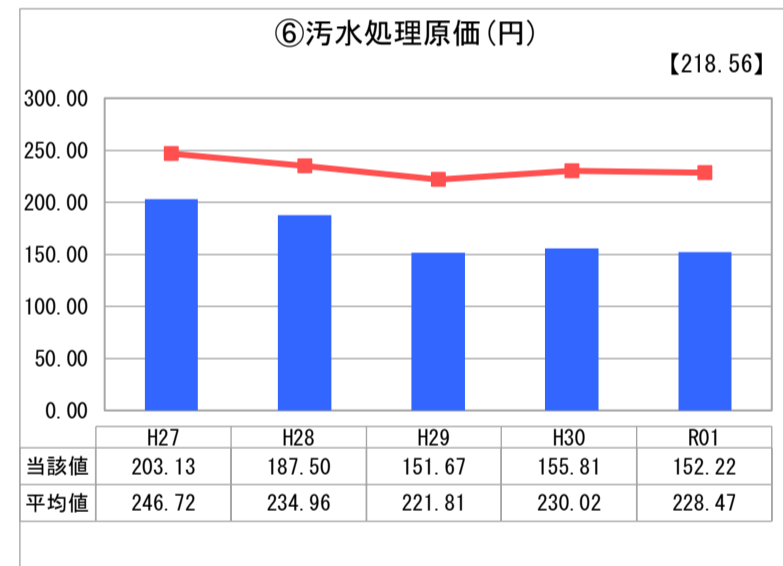
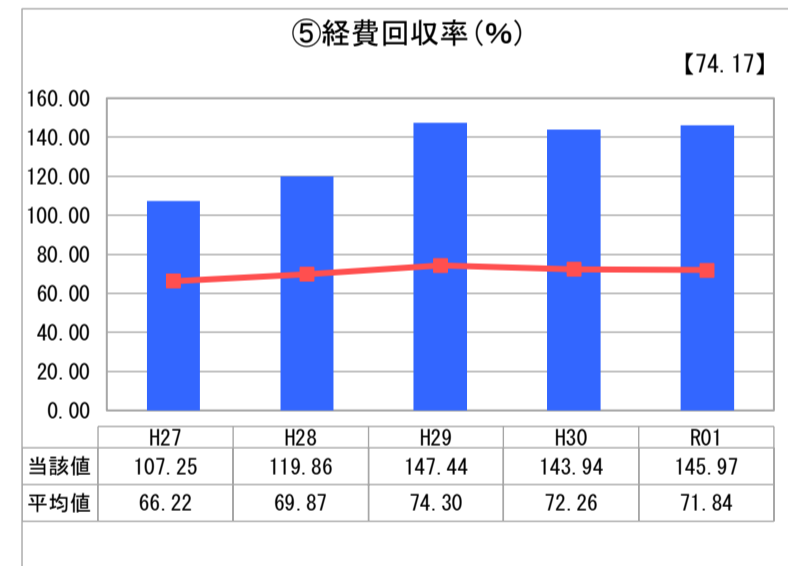
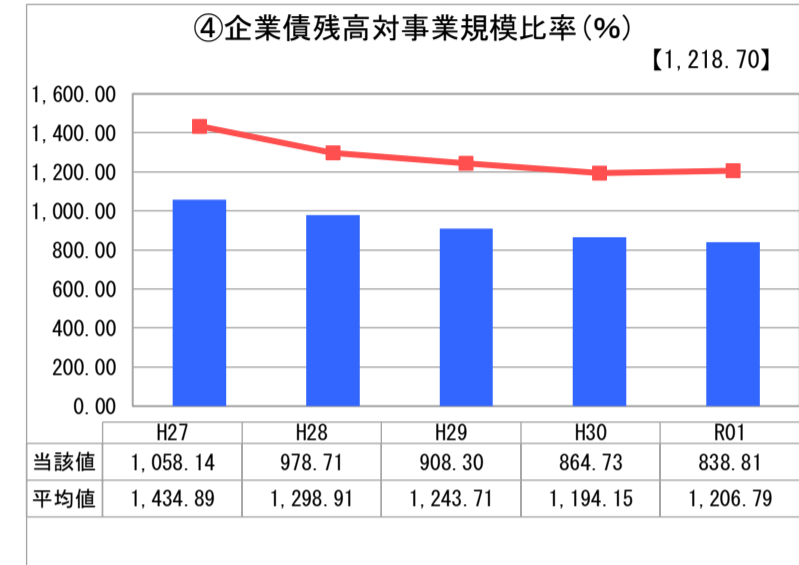
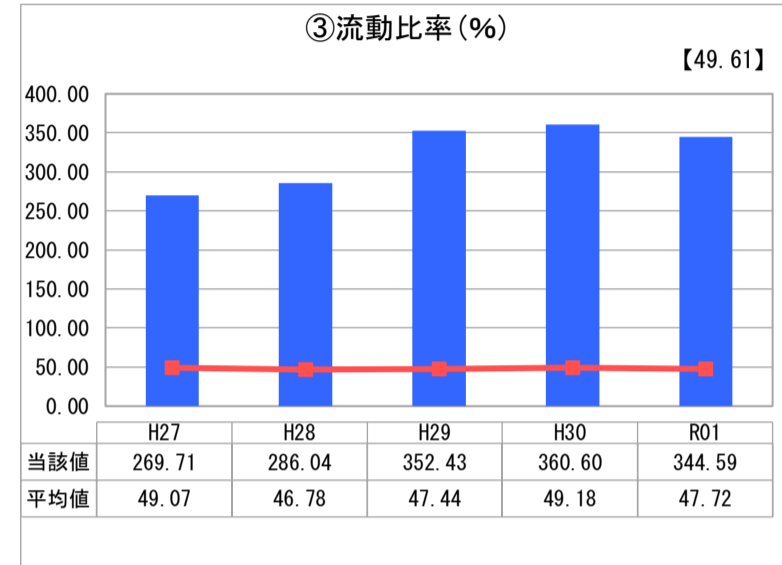
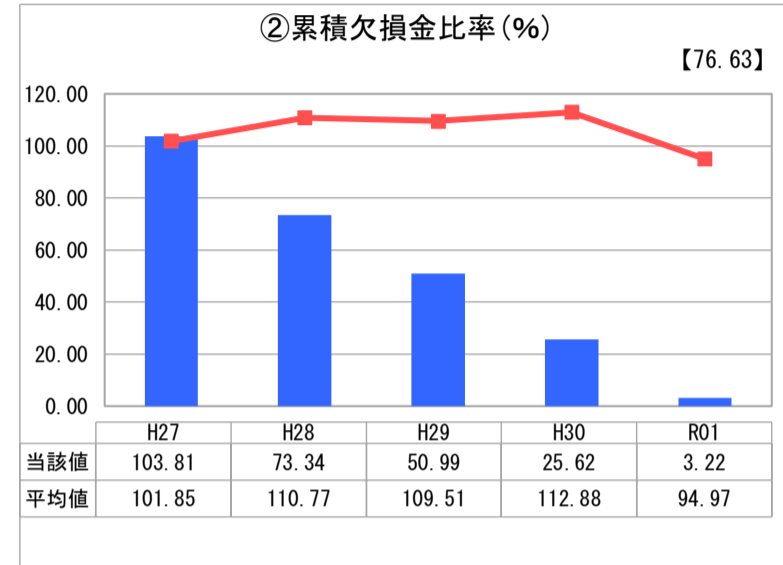
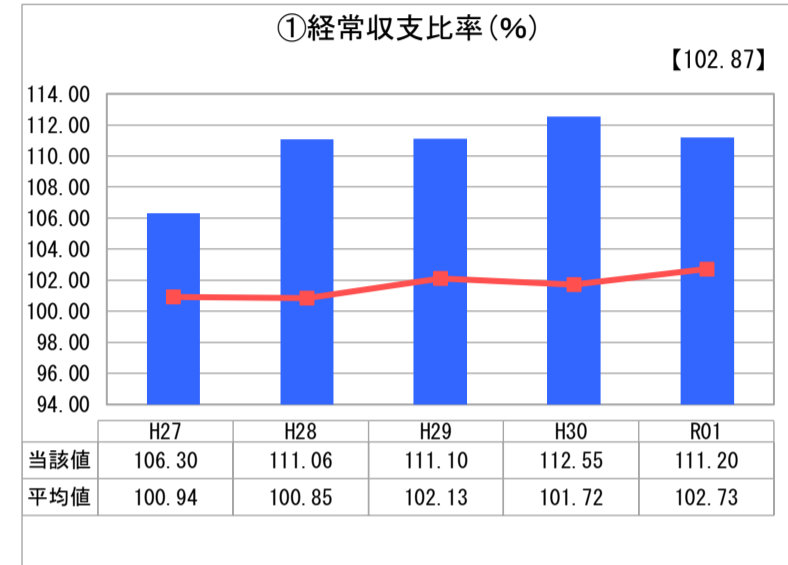
兵庫県 加西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	36.44	33.59	93.81	3,710

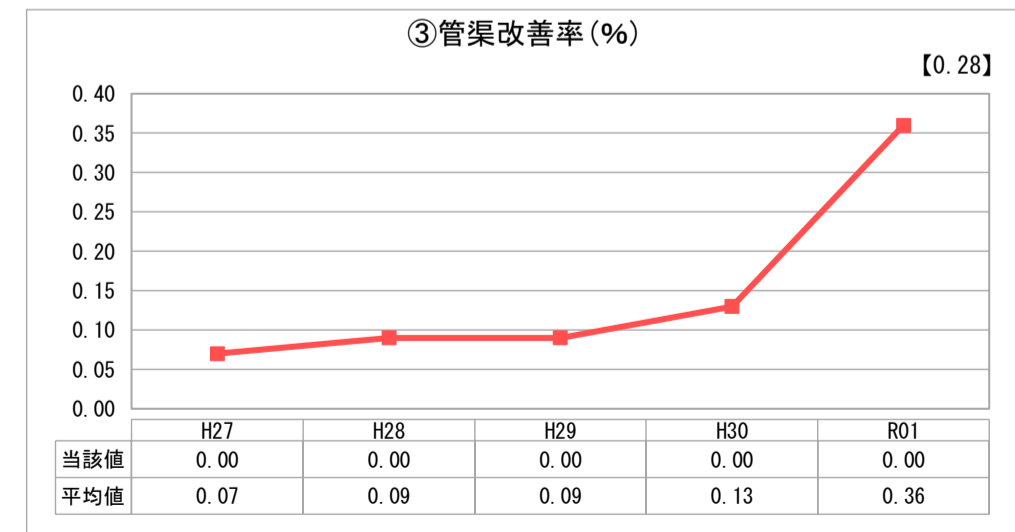
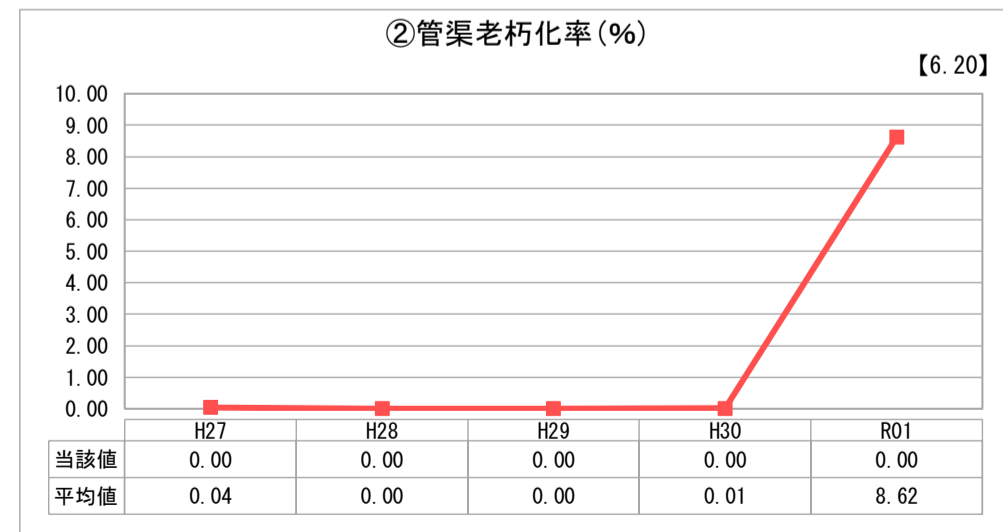
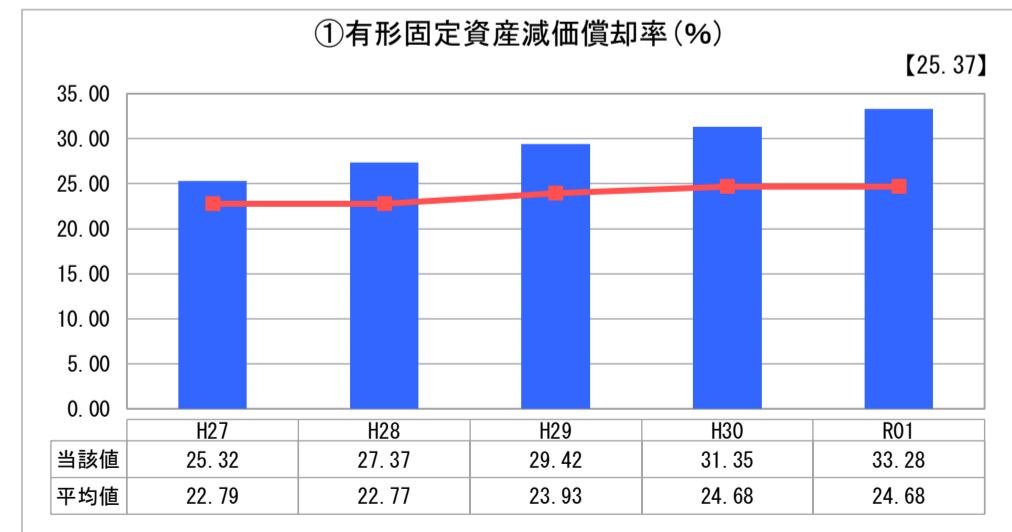
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
44,080	150.98	291.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
14,739	12.55	1,174.42

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は100%を上回っており、経営状況は引き続き良好です。ただ、令和元年度は収入が減少し費用が増加したため、平成30年度に比べて数値が悪化しています。処理区域の統合により今後の収支は流動的ですが、収入の減少と費用の増加が見込まれるため引き続き経費の節減に努める必要があります。

② 累積欠損金比率は、近年黒字が続いているため改善しています。

③ 流動比率は100%を大きく超えており、良好な状況を保っています。

④ 企業債残高対事業規模比率は引き続き類似団体平均を下回っており、適正な数値となっています。

⑤ 経費回収率は引き続き100%を超えており、使用料で経費を賄っている状況であるといえます。

⑥ 汚水処理原価は類似団体平均に比べて低くなっており、比較的経営の効率は良いといえます。

⑦ 本市には特定環境保全公共下水道の処理施設がないため、施設利用率は該当がありません。

⑧ 水洗化率については年々上昇し類似団体平均を上回っていますが、今後も引き続き水洗化の促進に努めます。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均と比べると数値が若干高く、令和元年度末で33.28%、全体の残存価額は7割程度残っていることとなります。

② 管渠老朽化率は、管渠を比較的近年に整備したため法定耐用年数を超えたものはありません。

## 全体総括

本市の特定環境保全公共下水道事業については、ほとんどの指標において数値も良く、全体的に類似団体平均と比較しても良い状況となっています。現在農業集落排水処理施設及びコミュニティプラント処理区域の統合事業を実施しており、今後の経営状況は流動的になっていくことが予想されますが、引き続き経費の節減と水洗化の促進等による使用料収入の確保に取り組み、効率的で持続可能な下水道経営に努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。



# 経営比較分析表（令和元年度決算）

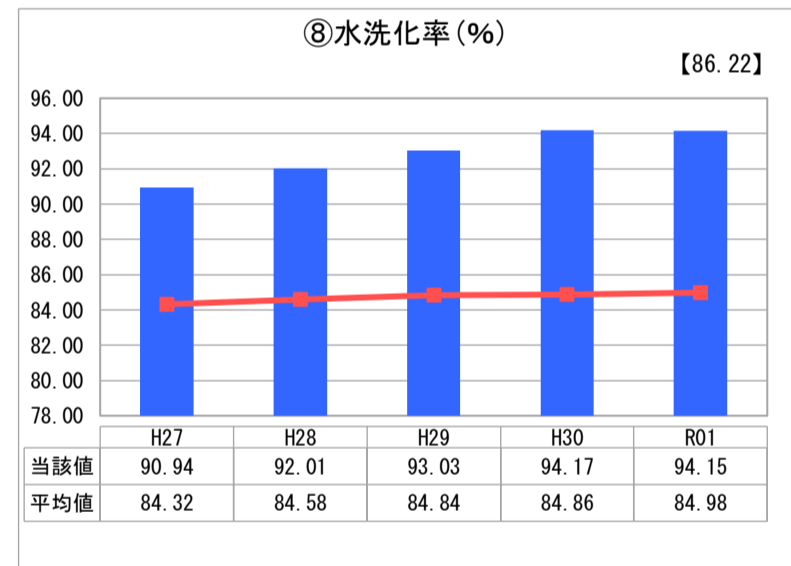
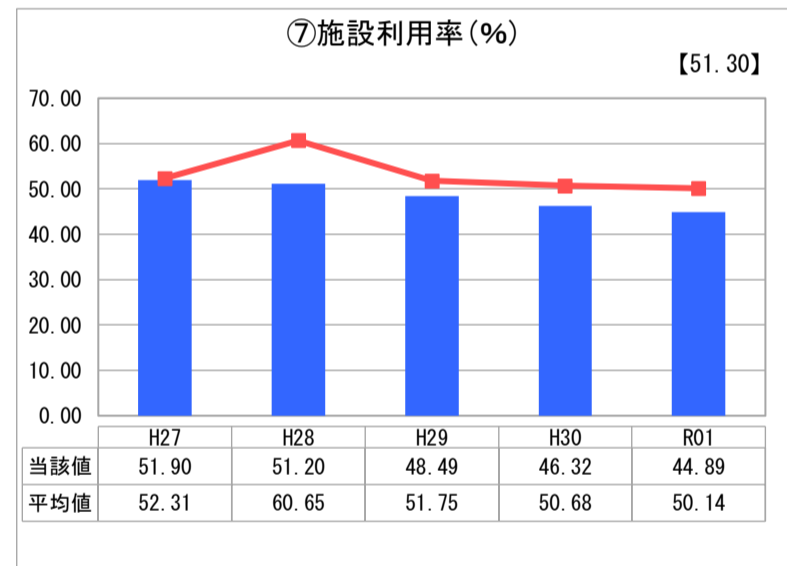
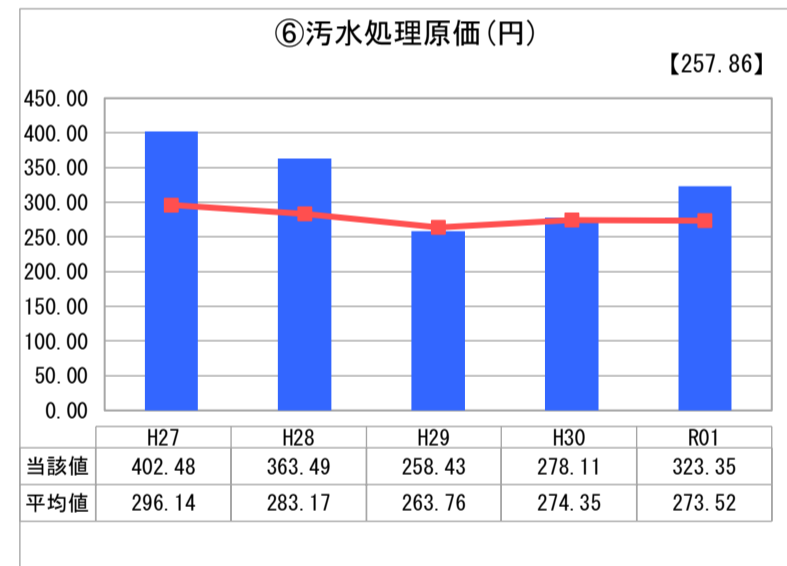
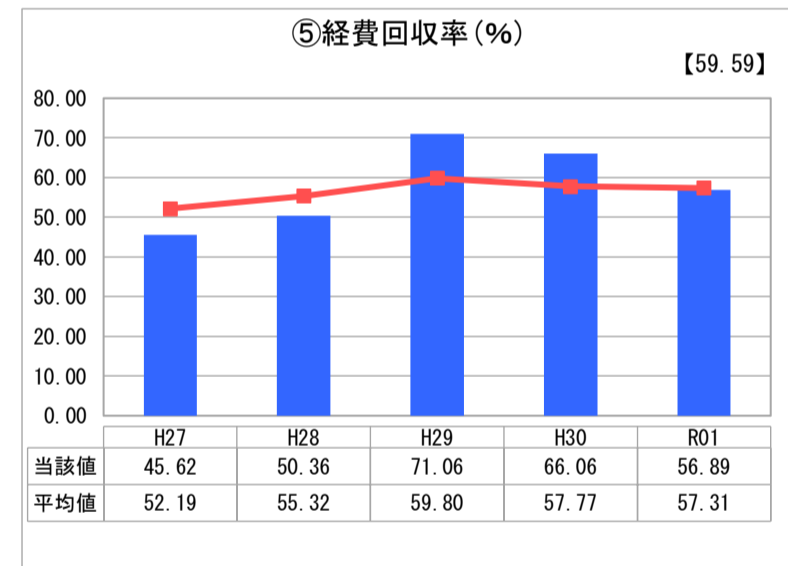
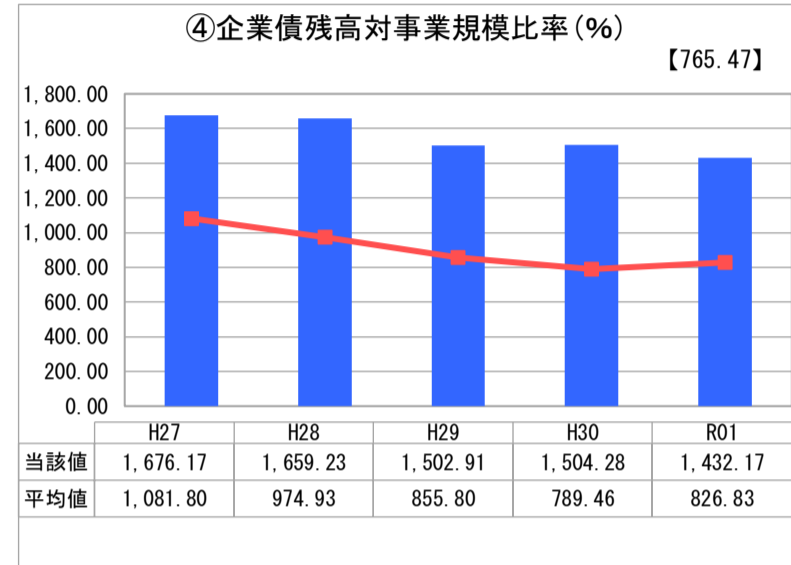
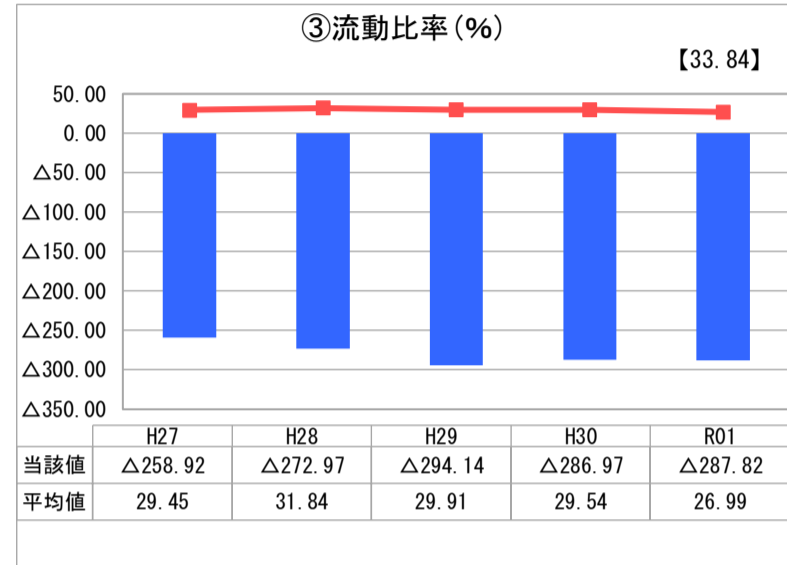
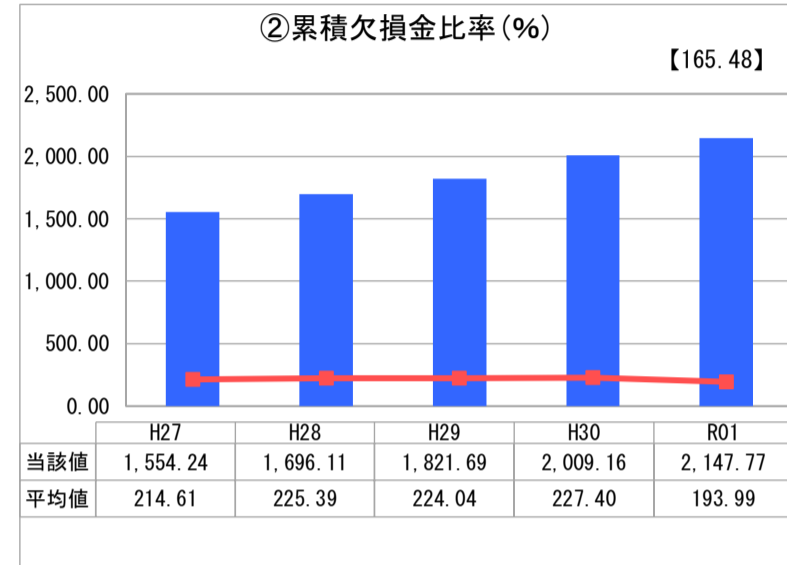
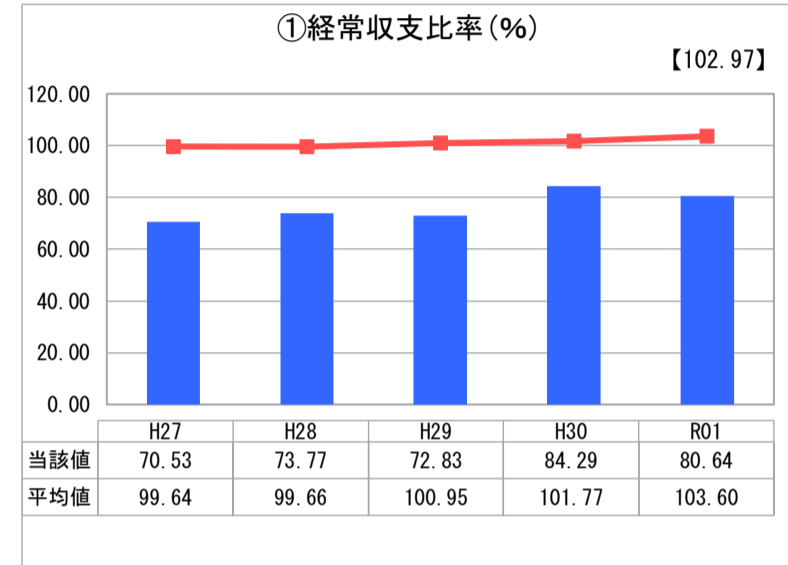
兵庫県 加西市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	13.00	18.82	97.72	3,710

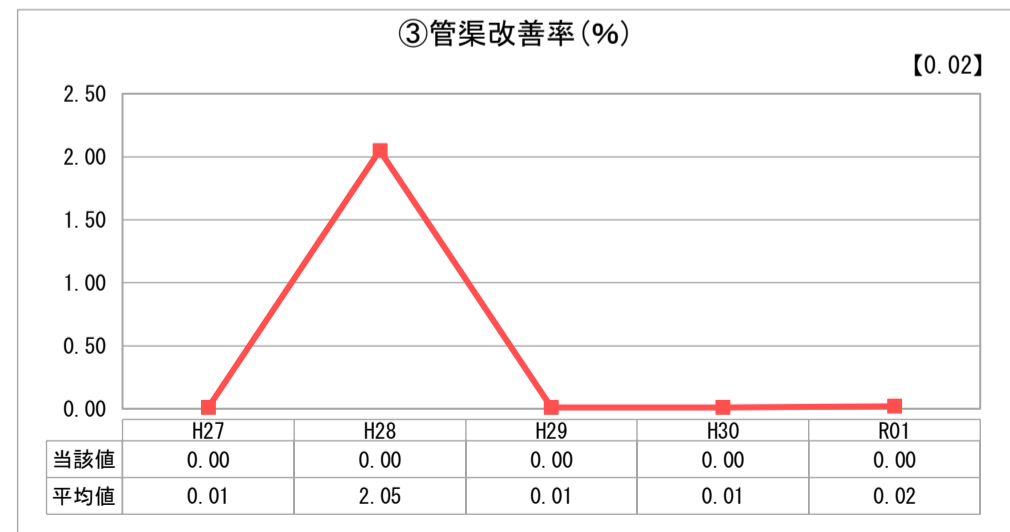
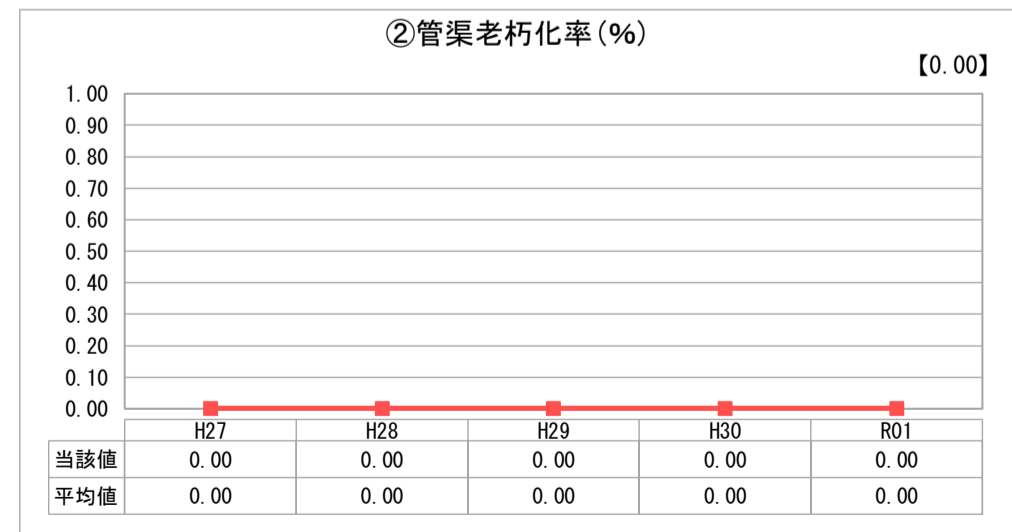
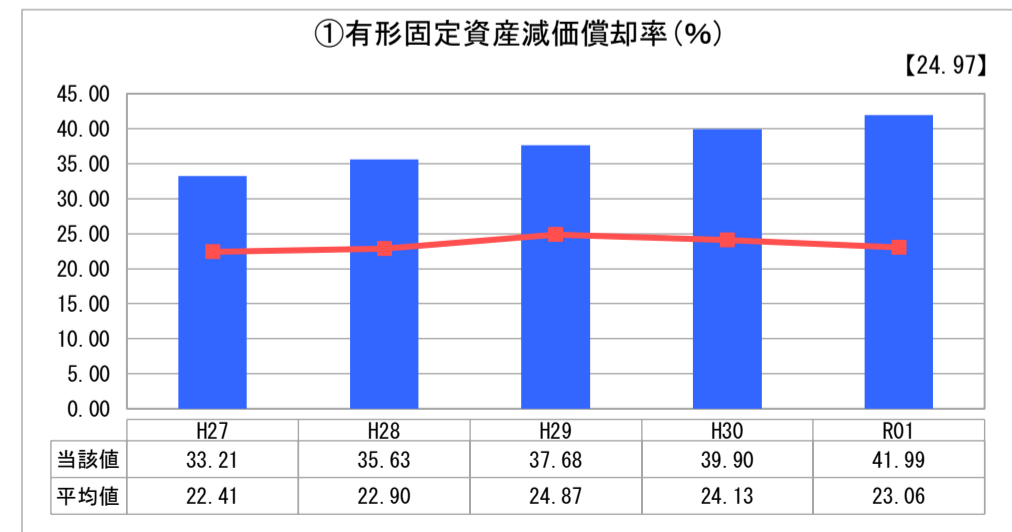
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
44,080	150.98	291.96
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
8,256	3.23	2,556.04

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は80.64%で類似団体を大きく下回っています。実施中の統廃合事業の影響もあり、令和元年度は前年度に比べて収入が減少し費用が増加していることから数値は悪化しています。

② 累積欠損金比率は前年度に比べ悪化しており、引き続き類似団体平均を大きく上回っています。

③ 流動比率は類似団体平均を大きく下回っています。ただ、公共下水道等を含めた下水道事業全体では、支払能力に問題はありせん。

④ 企業債残高対事業規模比率は類似団体平均を上回っています。当事業は汚水処理区域が広いこと、処理施設数も多く管渠延長も長いことから整備に多額の費用が必要となり、その財源として多額の企業債を借入れたためです。

⑤⑥ 令和元年度は費用が増加し有収水量が減少したことから、前年度に比べて経費回収率は減少、汚水処理原価は増加と、それぞれ数値は悪化しています。

⑦ 施設利用率は約40%台と低い数値で推移しています。汚水処理量の減少により数値は悪化しています。

⑧ 水洗化率は90%を超えており、類似団体平均と比較しても高い数値となっています。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は令和元年度末で41.99%と類似団体平均と比べると数値が高くなっています。本市が比較的早い時期から農業集落排水事業に取り組んできたためです。

## 全体総括

農業集落排水事業は、農村部にあたる地区の下水道事業です。広い処理区域に家屋が点在しているため効率的な汚水処理が難しいことに加え、多額の施設整備費用の財源として借入れた起債の未償還残高が多いことなどから、指標の数値はどれも芳しくありません。

今後は農村部では特に顕著な人口減少による使用料収入への影響に加えて、施設の老朽化による維持管理費用や更新費用についても懸念されます。

このため、今後数年内に特定環境保全公共下水道への統廃合を進め、事業のスリム化と経営の効率化を図っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。